



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■守っていただきたいこと

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は、複層ガラスを使用するため、製品重量が最大150kgとなります。枠の垂れ下がり・ガラス落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
 - ・必ず指定のねじで枠を固定してください。
 - ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
 - ・開口部を付け枠等でふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。
- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・本製品取付後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売り)を貼ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱説明書を参照してください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売り)を使用してください。

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

No.	チェック内容	
1	後付けビードのコーナー部には切れ目を入れて押込みましたか？	☐
2	後付けビードは余長を持たせて取付けましたか？(目安 1000mmあたり30mm)	☐

■取付上のお願

- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れることがあります。
- 枠取付ねじの取付けには、インパクトドライバーは使用しないでください。電動ドライバーを使用の際は、締付けトルク1.5～2.0N・m{15～20kgf・cm}にて取付けを行ってください。
- 節などの硬い部分や、硬い木(ヒノキ・米松など)の場合は、φ2.5mm以下のドリルで下穴をあけてから、取付けを行ってください。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

■サッシ枠の フクレ・ツミ	■サッシ枠 対角差	■サッシ上下枠の 内反り・外反り	■サッシ枠の ねじれ	■サッシ枠の 室内外の反り																				
<table><tr><td>L2-L1</td><td>A</td></tr><tr><td>3</td><td>1.5</td></tr></table>	L2-L1	A	3	1.5	<table><tr><td>C</td></tr><tr><td>2</td></tr></table>	C	2	<table><tr><td>L1-L2</td><td>D</td></tr><tr><td>3</td><td>2</td></tr></table> <table><tr><td>L2-L1</td><td>E</td></tr><tr><td>3</td><td>1.5</td></tr></table>	L1-L2	D	3	2	L2-L1	E	3	1.5	<table><tr><td>F</td></tr><tr><td>2</td></tr></table>	F	2	<table><tr><td>H1</td><td>H2</td></tr><tr><td>1</td><td>1</td></tr></table>	H1	H2	1	1
L2-L1	A																							
3	1.5																							
C																								
2																								
L1-L2	D																							
3	2																							
L2-L1	E																							
3	1.5																							
F																								
2																								
H1	H2																							
1	1																							

- 特殊薄板を使用したトリプルガラス(室内側)に吸着チャック(吸盤)を使用される場合、エッジから200mm以内の位置に吸着して使用してください。ガラスのたわみの影響を受けにくく、安定して取付けることができます。

■取付ねじ・押縁一覧表

①	②	押 縁
枠取付ねじ(低頭ねじ) φ3.1×25	皿木ねじ φ3.1×20	上用/台形FIX窓 1本
		縦用/2本

■取付順序

※図は台形FIX窓で説明しています。

1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

▲注意

- 組立ねじの頭部が躯体と干渉する際は、必要に応じて躯体に切り欠き加工を行ってください。(A部)サッシが取付けできなくなる場合があります。

■A部詳細図

2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。

○お願い

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。

■B部詳細図

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締め付けしてください。

▲注意

- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
 - ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
 - ・本製品取付後、枠と躯体の取合せ部に下記①～③に従って、防水テープ(別売り)を貼ってください。

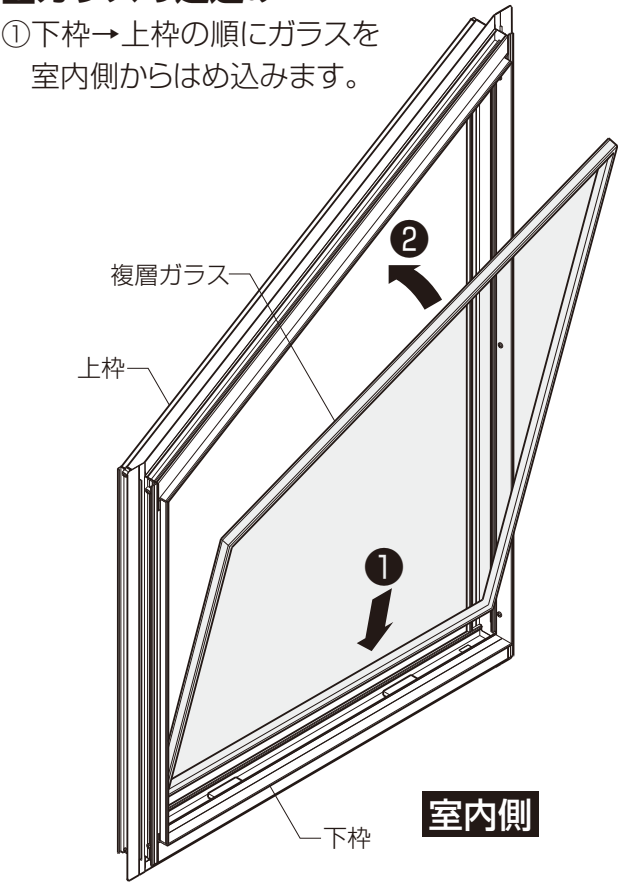
①コーキングシーラーに5mm以上重ねる。

②根元からすき間を空ける。

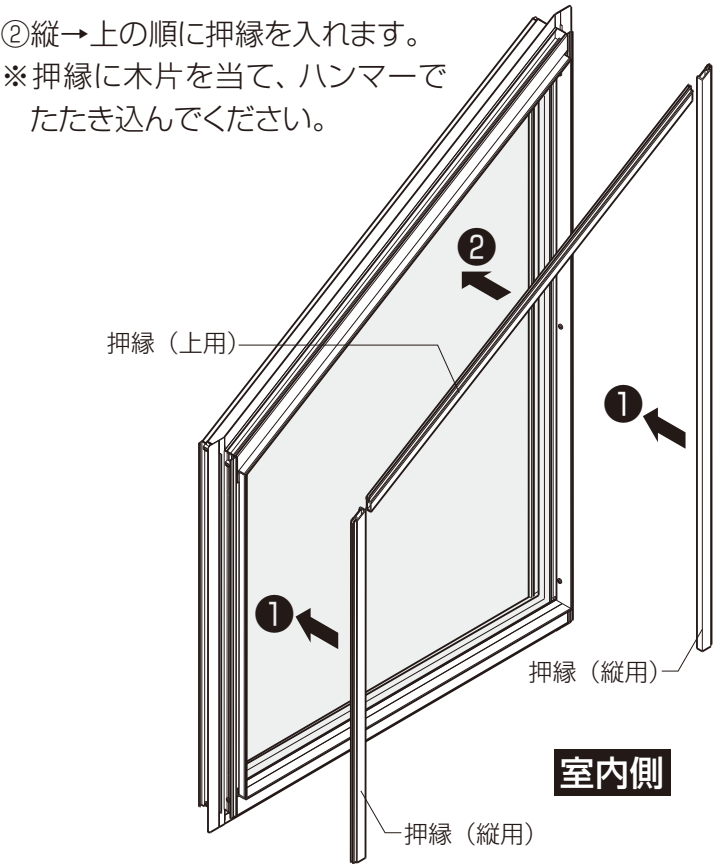
③ピンホールを生じさせないように必ず圧着する。

3 ガラスの建込み

①下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。

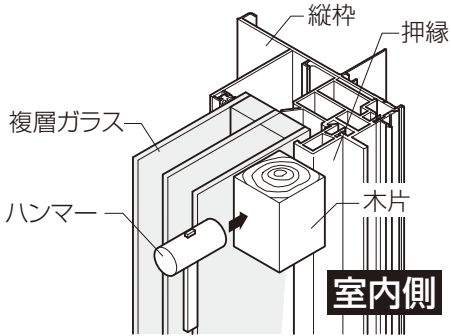


②縦→上の順に押縁を入れます。
※押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。



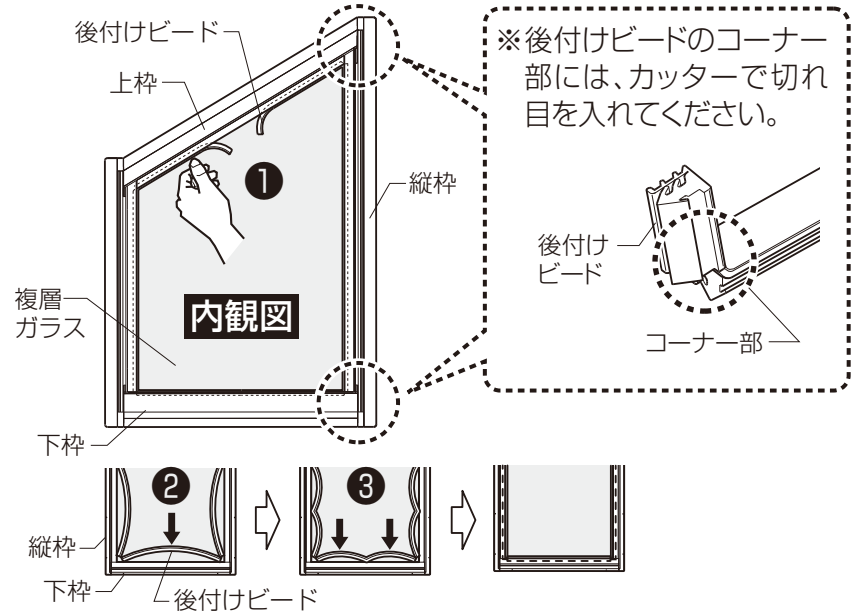
お願い

●組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れることがあります。

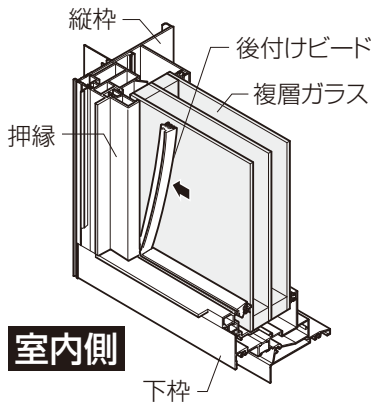


③四方に後付けビードをまわします。

- 図の①のように余長を持たせて、四方に後付けビードをまわします。余長なく押込むとビードが収縮し、外れや雨漏りの原因となります。[後付けビードの余長の目安1000mmあたり30mm]
- 図の②③のように数カ所、均一にたわむように仮止めしてから押込みます。

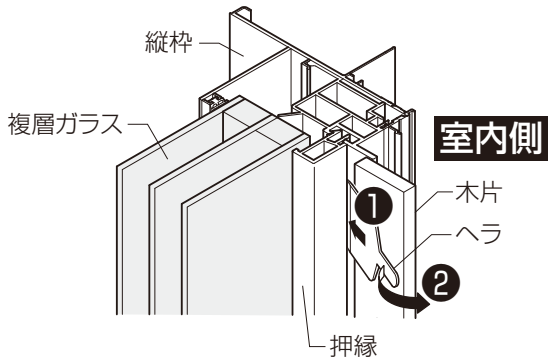


【ビードの押込みがきつい場合】
後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の三方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。

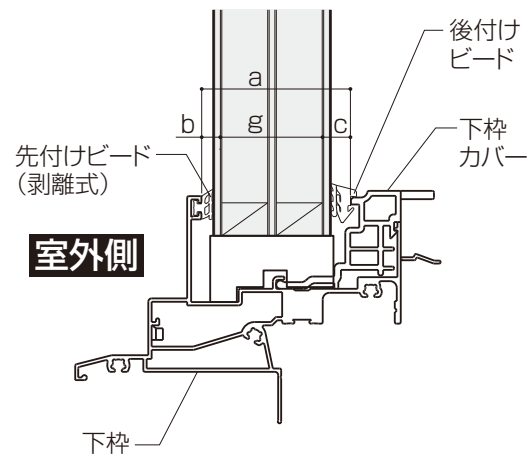


■ガラスの外し方

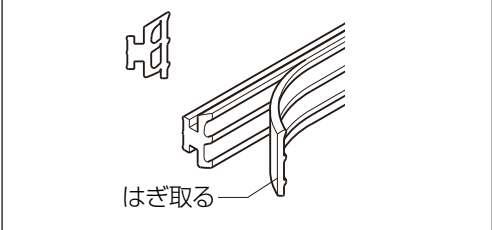
※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に下図のようにへらを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して押縁を外してください。押縁(縦用)を外す際はへらと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外すようにしてください。(樹脂にキズやへこみが付かないようにしてください。)



■ガラスビードの使用区分



■先付けビードの剥離方法



■PG (複層ガラス)トリプルガラス(kr) a=34

ガラス厚 (g) (mm)	ガラス構成	先付けビード (b)	後付けビード (c) (別売)
22	3 - 16 - 3	4	8
23	3 - 16 - 4	3 (剥離)	8
24	4 - 16 - 4	4	6
25	5 - 16 - 4	3 (剥離)	6
26	5 - 16 - 5 3 - 8 - 4 - 8 - 3	4	4
27	6.8 - 16 - 4 3 - 10 - 1.3 - 10 - 3	4	3

■トリプルガラス (Ar) a = 45

ガラス厚 (g) (mm)	ガラス構成	先付けビード (b)	後付けビード (c) (別売)
34	3 - 12 - 4 - 12 - 3	3 (剥離)	8
35	3 - 14 - 1.3 - 14 - 3	4	6